

vol.39 | 2018
SPRING

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を発揮できる佐賀市の実現をめざしましょう。

Passport

佐賀市男女共同参画情報誌
ぱすぽーと

女・男フォーラム開催！



第13回一言メッセージ表彰式



ワーク・ライフ・バランス 推進研修会公開セミナー



4.14 パートナーデー

◆ C · O · N · T · E · N · T · S ◆

- ひと ひと ●女・男フォーラム「みんなの力で防災力アップ！」
- 一言メッセージ表彰式
- 多様な性について
- これからの時代の働き方改革
ワーク・ライフ・バランス推進研修会公開セミナー
- 平成29年度 男女共同参画推進フォーラム 参加報告

p1~2

p3~4

p5

p6

p7

平成29年度 ^{ひと ひと} 女・男フォーラム

開催日：平成29年10月29日(日)

テーマ **みんなの力で防災力アップ!**

会場：佐賀市立図書館

第1部 基調講演

「大切な人とまちを災害から守るために
私たちがやってきたこと」



講師：菅野澄枝さん

〈岩切の女性たちによる 防災宣言を作る会〉

「ほんとうに助かりたい人、要援護者が参加しない防災訓練に何の意味があるの？」当時の仙台市宮城野区の女性の区長の働きかけから、私たちの防災活動が始まりました。「女性目線どのように災害を乗り切るかを宣言にして発表しよう」と、区内の女性を集めて宣言が作られ、2010年6月、区の総合防災訓練で発表されました。宣言をして何かが劇的に変わったわけではありません。しかしその宣言の9か月後に東日本大震災は起きました。

当時PTA会長だった私もメンバーも避難所運営を手伝っていました。しかし、「みんなを守りたい」という宣言をしたはずなのに、私たちには力がありませんでした。仕切りもない女子用なのか男子用なのかわからない仮設トイレに対しても意見することができません。それに、避難所内での炊き出しで起きたトラブルも解決できませんでした。あの時、ちゃんと判断できる自分だったらと思うと本当に悔しいです。

もう1つ申し訳ないと思っていますことがあります。震災後2・3年目の時、PTA会長としてかかわった中学校の被災地交流で、放射能が原因で生徒同士の交流ができなかったことです。放射能のことを正しく伝えられなかった悔しさを未だに思い出してしまいます。

もう1つ申し訳ないと思っていますことがあります。震災後2・3年目の時、PTA会長としてかかわった中学校の被災地交流で、放射能が原因で生徒同士の交流ができなかったことです。放射能のことを正しく伝えられなかった悔しさを未だに思い出してしまいます。

もう1つ申し訳ないと思っていますことがあります。震災後2・3年目の時、PTA会長としてかかわった中学校の被災地交流で、放射能が原因で生徒同士の交流ができなかったことです。放射能のことを正しく伝えられなかった悔しさを未だに思い出してしまいます。

〈SBL(仙台市地域防災リーダー)の活動を通して〉

「もう後悔したくない。ちゃんと判断できる自分に」と思って受けたのが、NPO法人イコールネットが展開した女性防災リーダー養成講座でした。この講座を受けた人や連合町内会の推薦を受けた人などがSBLとなります。現在638人。その中で女性は154人います。

活動内容は、以下のとおりです。

- ①自主防災組織と協力し、地域の自主防災活動を推進、指示する。
- ②平常時、顔の見える関係づくり、災害に対する備えを推進する。
- ③発災時は応急活動の指揮、及び避難所運営を助ける。

中でも大変なのが、避難所運営。水害対応のためのSBLの出動に関しては、仙台市から地域に任せられていますが、岩切の場合は出動しています。「おっかない」と思ったらいつでも来ることができる、避難者が来なくてもOKの気持ちで避難所を開けています。また、SBLとしては、防災訓練や講座を運営し、様々な団体や年代の人たちと交流し、「80代の方も助ける側に回れるように、子どもたちには、自分の命は自分で守れるように」ということを伝えています。

活動するメンバーの中では「無理しないで楽しくやろう、でないと続かないから。」と伝えています。さらに2015年には、一緒に歩いていきませんかというメッセージをこめて、新しい「岩切・女性たちの防災宣言」で決意表明をしました。これは国連防災世界会議でも取り上げられました。

こうして活動する中で、支えてくれる人や声をかけてくれる人が増えました。以前の、何も言えず解決できなかったころの私たちではありません。

この活動は自分の学びを高めるためのものです。また、大切な人たちを守ろうという気持ちをいつも口にしたい。そして、出会いと交流の中で地域の輪を広げ、守るべき大切な人たちを増やし続けたいと思っています。

第2部 ワークショップ 『災害シミュレーションゲーム 「クロスロード」で考える“みんなの防災”』



「クロスロード」とは、カードを用いたゲーム形式による防災教育教材のことです。遊び方は、カードの設問に対して各自がYesかNoで自分の意見を示し、意見が多い方がポイントとして「青色座布団」をもらうことができます。逆に、その意見が1人だけだった場合は、「金座布団」をもらうことができます。阪神・淡路大震災の際に、神戸市職員が実際に直面した課題などをカード化したものです。ゲーム

を通して突発的な出来事への対応を自らの問題として考えるとともに、様々な価値観を参加者同士で共有することで、自分自身の「こだわり」や「思考のクセ」に気づくことができ、「判断力」を養うツールとしても効果的といわれています。クロスロードで大事なことは、



講師：天野英樹さん

- ①災害時の多様な視点に気づく
- ②模擬的にいざという時の対応を経験する
- ③楽しむ

という講師からの説明がありました。

出された設問を通して、以下のようなことを参加者みんなで考えました。

- ★足りるか足りないか分からない食糧。配り方はどうする？
- ★自分の身の危険を顧みずに知人を助ける？
- ★インフルエンザ罹患者がいるかもしれないが、避難所に個室がなかったらどうする？

同じ課題でも、自分の状況(年齢や性別や家族構成)で答えが異なります。また、同じ答えでも、理由の違いもあります。クロスロードを体験してそれぞれの答えや理由をきいて多様な意見が出ることで、自分では思いつかなかった事、知らなかった事を共有することができました。

実際に災害に遭った時に立ち止まる余裕を持つためにも、普段と違う状況になったときに何がしたいのか、どういう判断が必要なのかを前もって考えておくことの大切さを学ぶことができました。



フォーラム参加者の声

- まちづくり協議会に防災部会があるので女性の意見も入れてほしいと思った。
- 初めてクロスロードを体験しましたが、討議してより考え、為になった。
- 大変分かりやすく、防災に対する認識が自分自身のことだということからかけ離れていたことが分かりました。



避難所チェックシート

- ★避難所の開設・運営においては、男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズに配慮することが必要です。
- ★女性、子ども・若者、高齢者、障害者等の多様な主体の意見を踏まえた避難所運営を行うため、管理責任者や自治的な運営組織の役員には男女両方が参画します。

女性や子育て家庭に配慮した避難所の開設

- 異性の目線が気にならない物干し場、更衣室、休養スペース等
- 授乳室
- 間仕切り用パーティションの活用
- 乳幼児のいる家庭用エリア
- 単身女性や女性だけの世帯用エリア
- 安全で行きやすい場所の男女別トイレ(鍵を設置)
 - ・入浴設備の設置(仮設トイレは、女性用を多めが望ましい)
- ユニバーサルデザインのトイレ
- 女性トイレ・女性専用スペースへの女性用品の常備



男女共同参画の視点に配慮した避難所の運営管理

- 管理責任者への男女両方の配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画の確保(女性の割合は少なくとも3割以上を目標にする)
- 女性や子育て家庭の意見及びニーズの把握(民間支援団体等の協力によるニーズ調査、意見箱、女性リーダーによる意見の集約等)
- 女性用品(生理用品、下着等)の女性の担当者による配布
- 避難者による食事作り・片付け、清掃等の役割分担(男女を問わずできる人が分担し、性別や年齢によって役割を固定化しない)
- 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談の実施(個室やパーティション等を活用し、プライバシーを確保したスペースで実施)
- きめ細かな支援に活用できる避難者名簿の作成及び情報管理の徹底(氏名、性別、年齢、支援の必要性(健康状態、保育や介護を要する状況等)、外部からの問合せに対する情報の開示・非開示の可否、等)
- 配偶者からの暴力の被害者等の避難者名簿の管理徹底
- 就寝場所や女性専用スペース等の巡回警備、暴力を許さない環境づくり
- 防犯ブザーやホイッスルの配布
- 不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口の周知、男性相談窓口の周知

「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」
(内閣府男女共同参画局から抜粋)

女・男フォーラム取材して

「女性目線の防災を考えることは、受け身姿勢の自分を問い直すこと、自分の学びを積み重ねること、つながりを作り広げていくことだ。」と考えさせられました。「災害が災害になるのは備えがないから」を肝に銘じたいと思います。(草場・矢ヶ部・諸永)

クロスロードは、学校や職場、自治会などで定期的に行っていると、色々なアイデアも出てくるし、もしもの時に必ず役に立つツールだと思いました。(岡本・今町)

第13回 一言メッセージ表彰式

開催日：平成30年2月3日(土)

会場：佐賀市立図書館

主催：佐賀市男女共同参画ネットワーク



4月14日の「パートナーデー」に寄せて、家庭、職場、学校、地域などで抱く「感謝の気持ち」や男女共同参画の視点から「おやっと思うこと」「ちょっと気になるなあという思い」を表したメッセージを募集しました。2,592件の応募作品の中から**入賞された作品を紹介します**。受賞者のみなさん、おめでとうございます。(学年は平成29年度現在)



こどもの部 最優秀作品

**男、女、関係ない! 思ったことはちゃんと言おう。
みんな同じ人間でしょ?**

クラスメイトへ 牛津高2年 廣重 直政

クラスでは、圧倒的に女子の方が多くて男子は押され気味。でも男女に関係なく言いたいことを言い合う、そんな仲間になりたいと思います。



こども・高校生の部

晴寿園賞

そばに10秒いるだけで安心感100%自分も将来そういう人になれたらいいなあ。 お母さんへ 高木瀬小6年 仙波 楓奈

道の駅 そよかぜ館賞

はやく!! はやく!! っていうわないで。ぼくはぼくのペースでがんばるね。 お母さんへ 春日小5年 中牟田明仁

橘野医院賞

「がんばりんしゃい。」この一言で、勇気がもらえて、笑顔の花が咲いている。 おばあちゃんへ 嘉瀬小6年 松鶴 陸

佐賀玉屋賞

ママ、パパ、「女の子でしょ」って言うのはやめて それじゃあ男は関係ないの お母さんお父さんへ 南川副小6年 内田 心優

ぶんぶんテレビ賞

休みの日、お母さんといっしょ。あしたもお休みだったらいいのにな。 お母さんへ 開成小2年 柳 安珠

九州国際空港賞

スマホばかりしないで わたしとおしゃべりもしてね。 おとうさんお母さんへ 芙蓉小2年 北村 彩結

味の素賞

「大丈夫?」あなたの言葉で救われる。私も誰かに言えるといいな。 友人へ 佐賀大学附属中2年 江頭 柚葉

のり道楽賞

隣の部屋にいるんだから、メールで話すのやめようよ。お父さん。 お父さんへ 佐賀大学附属中2年 藤山 佳鈴

村岡屋賞

女の子だけよりも男の子ともたくさんそとで遊ぼうよ はるあちゃん はるあちゃんへ 思斉小4年 原田 愛菜

北島マルポーロ賞

今度ぼくのくつ貸してあげるね。だって、くつのサイズいっしょだもん。 おかあさんへ 東与賀小4年 永淵謙志朗

ガラス工房ダンダン賞

おじいちゃんを作るハンバーグとプリンとゼリーはととてもおいしいよ。 おじいちゃんへ 春日北小2年 たしろろう

森永歯科クリニック賞

料理をしてくれるその手はしわしわで小さいけど、とても強くみえるんだ。 そう祖母へ 城北中3年 中島 心愛

村岡屋賞

やっというて、じゃなくて協力して、いっしょにがんばってやろうよ。 お姉ちゃんへ 本庄小6年 内田 光星

九州グリコ賞

「トントンストン」今はパパと私でカレー作り。今度は私にまかせてね! パパへ 春日小3年 山本 彩友

北島マルポーロ賞

「あたり前と思うな」この言葉、日々の生活で大切なもの教えたのはお父さん お父さんへ 富士中1年 光野 鈴菜

ゆにおん賞

お父さんの文句言いながら、お父さんの好きなもの買ってるの知ってるよ。 お母さんへ 龍谷高2年 溜村 伊織

ゆにおん賞

「女の子やるーもん!」なんでいつも妹の私ばかり? お兄ちゃんってそがん偉かど? お母さんへ 佐賀東高1年 坪上 早絵

サガン鳥栖賞

ほこりまみれになっても、泥まみれになっても、働く姿は僕の誇りです。 父へ 佐賀東高1年 江頭 和紀

結び賞(佳作)

私の顔を見ただけで、嘘も不安な事もテストの結果もすぐに見破れちゃう。 お母さんへ 龍谷中3年 宮崎 愛

どんなにつらくても笑顔、おこる時もそれは私達のため、そんな先生が大好き。

小池玲子先生へ 諸富南小6年 石橋 琴葉

もう少し、ぼくといっしょの時間をつくってよ。いろんな遊びをしよう。 お父さんへ 若楠小4年 西村 祐希

お母さんいつもありがとう今日は、洗濯物とか全部するからゆっくりやすんで お母さんへ 久保泉小4年 梅野 朱良

「つかれたなあ」お母さん夜ご飯は、私が作るよ。さあ、台所へ、レッツゴー! おかあさんへ 川上小4年 森 千紘



大人の部 最優秀作品

あなたが居る日は何だか大変。
でも、居ないともっと大変なのよね。

子育てに協力しはじめた夫へ 大和町 高原 陽子

何の家事もできなかった夫が、やっと湯呑みを洗ってくれるようになりました。
少しずつ協力してもらえようがんばります。



大人の部

ホテルニューオータニ佐賀賞

膝を悪くしたのは、俺のせいと言ってるけど手をさしのべる
あなたは素敵です 夫へ 釘本 節子

板前割烹香光賞

近くで見るとおじいちゃん。農作業している姿は好青年!!
ずっと元気でいて下さい。 大好きな祖父へ 中島 直美

JAさが中部地区賞

家族三人力を合わせて一人分 どうかかできて 家事労働
同居している二人の息子達に感謝を込めて 高柳 栄子

肥前びどろ賞

結婚40年「あほやなあ」といつつ手を貸してくれるやさ
しい夫よ ありがとう 夫へ 浦川千代美

板前割烹香光賞

「家族だから、言わなくて分かるだろう」じゃ伝わらない。
家族だから、会話が必要。 家族全員へ 山本 和枝

藍染未来工房賞

単身赴任の貴方から「帰って来るよ」の一言で、鏡見つめる私
がここに。 長年単身赴任の夫へ 徳森 千鶴

古湯温泉鶴霊泉賞

共に仕事を持つ者同士。家事の分担に感謝！ありがとうの
言葉を伝えていこうね。 夫へ 坂井 郁

大和酒造賞

仲良く洗濯物をたたんでいる姿に癒されます。そんな夫婦に
私もなります。 おじいちゃんおばあちゃんへ 三根 頌平

二葉賞

ねえ聞いて ちゃんと聞いて 最後まで 夫へ 姉川 明子

板前割烹香光賞

毎日、一緒に汗しながら楽しそうに働いている姿は、素晴ら
しいお手本です。 結婚60周年目の両親へ 大野 良樹

理研農産化工賞

「ただいま。」の声より先に「うまかった。」何より嬉しいその言葉。
愛情いっぱい詰めてるの。 息子(高校2年生)へ 山本美保子

森の香菖蒲ご膳賞

一緒にカレーを作る。こんな日がくるとは！いつもの何倍も
美味しいよ。 小学生の息子へ 中元 光美

佐賀花市場賞

突然の入院、毎回の面会で若い時より深まる愛情、存在感が増えて
くる。がんばれ！ 入院している妻(正子)へ 横尾 敏廣

いしむら高木瀬店賞

「おばあちゃん、だいすきっ」そのひと言が私の心の栄養剤！
100年命が延びそうよ。 孫のかなちゃん(5才)へ 早木 朱美

サガ・ビネガー賞

おいしいよ。あなたの卵やきにつまってる。小ねぎピーマン
だし砂糖。そしてここ。 パートナー 夫へ 重松 尚美

理研農産化工賞

仕事で夜遅くなった日に、灯りがともった家に帰るとほっと
するよ。ありがとう。 夫と娘へ 土井佐和子

学校賞

学校全体で取り組み、連続して応募された
学校に贈られました。

嘉瀬小学校

南川副小学校

春日小学校

富士中学校

平松清風大学

■表彰式に参加して

3人のお子さんを連れて参加
された高原さんに、お子さん用
の席を設けてあったり、受賞者
の皆さんの笑顔が印象的で、暖
かい雰囲気での表彰式となりました。
(矢ヶ部ひとみ)



4月14日は「パートナーデー」

4/14 パートナーデー



パートナーデーは、家庭、
職場、学校、地域などでお
世話になっている人に感謝
の気持ちを伝える日です。
「メッセージカード」を使っ
て、感謝の気持ちを伝えて
みませんか。



誰もが自分らしく
生きるために…

もっと知ろう!多様な性のこと

「からだの性別」と「こころの性別」に不一致があって「こころの性別」に従って暮らしていきたいと望んでいる人、同じ性別の人を(も)好きになる人、生まれつき「からだの性別」の区分があいまいな人など。こうした人たちは、性別に関して世の中の多くの人たちと異なる特徴をもつことから「性的少数者」(セクシュアル・マイノリティ)と呼ばれていて、人生のいろいろな場面で、いろいろと困っていたり悩んでいたりとすることがあります。今回は、当事者の方の学齢期にスポットを当てます。

私たち一人ひとりが「性は多様である」という意識を持ち、「性的少数者」について、正しく理解しましょう。

●男女別、身体別で分けられることが多い



男女別の色分け



水泳、男女別の授業



制服、着替え

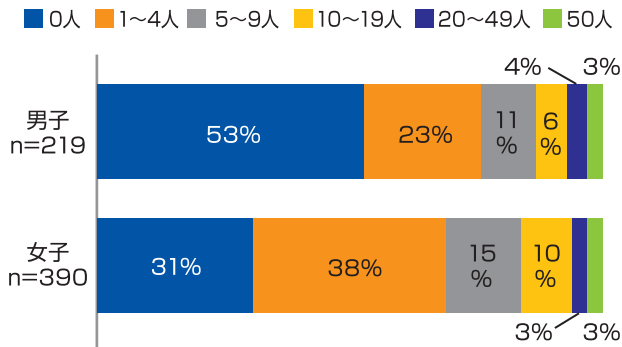


健康診断



修学旅行のグループ、部屋割、入浴

■小学生から高校生の間に自分がLGBTであることを話した人数(当時)



●自分が当事者であることを打ち明けにくい

■いじめや暴力を受けた経験(複数回答)

	性別違和のある男子	非異性愛男子	性別違和のある女子	非異性愛女子
身体的な暴力	48%	23%	19%	10%
言葉による暴力	78%	53%	54%	45%
性的な暴力 (服を脱がされる・恥ずかしいことを強制)	23%	12%	12%	7%
無視・仲間はずれ	55%	34%	51%	57%
上記の経験はない	18%	35%	30%	36%

●当事者の7割がいじめや暴力を受けた経験がある

LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)結果報告書 いのちリスペクト・ホワイトリボンキャンペーンより

こんなサポートがあるといいな。

- ★制服の選択の自由
- ★多目的トイレの設置
- ★相談しやすい環境の整備
- ★図書室や保健室に関連図書を置く
- ★啓発ポスターの掲示

☆どんな性でも自分らしく☆ part 2

当事者の方からのメッセージをシリーズで掲載中です。



6色のレインボーがシンボルとなっています

私はトランスジェンダー(男性から女性へ)です。

今は自分の望む性別で、生活していますが、性別移行期はとても大変でした。

お店の雰囲気合わない、お店のイメージダウンにしかならない、などの理由から就職や店の利用を断られる事がありました。働く事に性別は関係あるのでしょうか?

見た目だけの判断で中身を見てもらず、とても悔しくて、悲しい気持ちでいっぱいになりました。

現在はホルモン療法をしており、見た目が女性的に変化してきたので、そのような悲しい事を言われる事はなくなりました。

1人でも多くの人にセクシュアルマイノリティについて、正しい知識を持っていただければ、よりよい社会になると思っています。

佐賀LGBT支援団体AO*AQUA(アオ・アクア) 華恋
公式ホームページ <https://aoaqua-niji.jimdo.com/>

～今こそワーク・ライフ・バランス!～

佐賀市ワーク・ライフ・バランス推進研修会

開催日:平成30年1月25日(木)

会場:ほほえみ館4階 視聴覚室

佐賀市では、市内事業所・企業を対象にした働き方改革アドバイザー派遣事業の公開イベントとして、専門家による基調講演と、上記事業の参加事業所の方に、今後の取り組みについて発表していただきました。

第1部 講演会

「個人も組織も成長する
これからの時代の働き方改革」

さ さ き つねお
【講師】佐々木 常夫 さん



株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表取締役 東大経済学部卒業後、東レ入社。自閉症の長男を含め3人の子どもを持つ。しばしば問題を起こす長男の世話、加えて肝臓病とうつ病を患った妻を抱え多難な家庭生活。一方、会社では大阪・東京と6度の転勤、破綻会社の再建やさまざまな事業改革など多忙を極める中、2001年、東レ同期トップで取締役となり、2003年より東レ経営研究所社長となる。

1)タイムマネジメント(生産性向上)はすべての基本

仕事の計画策定と重要度を評価し、自分でデッドラインを決める。そして、効率よく最短コースを選ぶことが仕事の迅速性、シンプル化になり、結果につながる。さらに自分を大切にすることが大事で、自分が幸せになりたい気持ちは自分を成長させるだけでなく、人を大切にす、人に貢献することになる。

2)ワーク・ライフ・バランスを実現する仕事術

最初に全体構想と品質基準を決める計画立案と、上司の注文を聞く部下力の強化による戦略的仕事術。それから、過去のファイルを参考にする優れたイミテーションで、時間を節約する。ビジネスは予測のゲームなので、常に予測しフォローアップする効率的な仕事術。長時間労働は、プロ意識・想像力・羞恥心の欠如である。

3)自分と人を活かすリーダーのマネジメント

仕事の効率化の両輪は、コミュニケーションと信頼関係である。多くを聴く、その人に合わせた対応をする、精神的余裕を持つことなどが大事である。リーダーとしての主体性、考え方を確立させなければならない。

4)最後に

「起きたことはすべて正しい」は正しくない。愛とは責任である。運命を引き受けよう。

講演を聞いて

「いつかきっと良い日が来ると信じて」仕事も家庭も両立してこられた生き方に感銘を受けました。(草場 栄美)

【参加者の声】

- ・ますます仕事のやる気、効率化を考えて行いたい。何より家庭というところに共感がもてた。
- ・仕事のやり方、組織力を高めるための取り組み等について様々な気付きがありました。
- ・誠実に職場環境改善されている企業の取り組みが分かった。

第2部 ～働き方改革アドバイザー派遣～ 参加企業による取り組み紹介

社会福祉法人佐賀キリスト教事業団
介護保険総合ケアセンター シオンの園



コーディネーター:
株式会社サイズラーニング
代表取締役 高見 真智子 さん



法人事務局 相談役
野田 種敏 さん

課題

★介護事業所の安定・継続した経営に向けた人材の確保・定着のための環境づくり

目標達成のための取り組み(主なもの)

継続) 誕生日休暇、5連続休の奨励
継続) キャリアアップの支援(資格手当、受験の支援)
継続) 研修の実施、業務改善による効率化
新規) 役職者研修の実施
新規) 福利厚生充実
新規) 育児休業職員の支援(休業時の情報提供)

☆目標☆

- 長く働ける職場づくり
- 地域に評価され、選ばれる施設づくり

ワーク・ライフ・バランスを始めよう!!

ワーク・ライフ・バランス推進といっても何から始めたらいいの??...という声にお答えし、生産性向上のための取り組み例を紹介します!

- 1時間会議: 定例会議を1時間で決めて実施
⇒ 短時間で意思決定できるようになる
- がんばるタイム: 1日に2～3時間、打合せや電話対応をしない時間を設ける
⇒ 仕事に集中できる
- 自分のことは自分で運動: 自分でもできる雑用を部下に振らない ⇒ 部下が集中できる
(「選んで・はじめる!働き方改革ベストプラクティス集」(株)サイズラーニングより)

『男女共同参画推進フォーラム』参加報告

平成29年8月25日～27日に埼玉県の国立女性教育会館(ヌエック)で「つなぐ、あらたな明日へ～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～」をテーマに「男女共同参画推進フォーラム」が開催されました。今回、市民代表として参加した矢ヶ部ひとみさんと男女共同参画課福田の報告です。

特別講演：山口 香さん(筑波大学体育系准教授)

「変わる勇氣、変えるアクション～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～」

ソウルオリンピック柔道銅メダリストの山口香さんから柔道を通して学んだことについて講演がありました。

柔道界は、長年男性が中心的存在であり、指導的地位の女性は少なかった。引退後は指導者として道を切り開いていった。その時に感じたこととして、「男女にかかわらず、すべての人に違いがあり、その違いに価値がある。違いはマイナスではなく、プラスである。女性から発信されたことは、女性のみならず男性や社会に資するものとなる。違うバックグラウンドや考えを持った人たちが目標に向かって力を合わせることがチームワークであり、議論を交しながらより良いものをめざしていくこと、そこにマインドセット(別の見方や疑問を持って考える)していけば、それが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてのレガシー(遺産)となる。」というような内容を、時に冗談を交えて熱く語られた。

<感想>

山口さんの講演の「女性からの発信」という言葉に触発され、「地域で活躍できる女性を増やそう!」など、4つワークショップに参加して男女共同参画について学んだ。この3日間で学習したことをまず、自分の身の回りで活かしていきたい。おかしいと思うことには声を上げる(発信する)。そして、おおらかに、したたかに、楽しく、発信し続けたいと思う。
(矢ヶ部 ひとみ)



ワークショップ：岡谷市男女共同参画推進市民の会

小・中学生(子ども)を通しての男女共同参画の啓発

岡谷市男女共同参画推進市民の会(長野県)では、平成14年の設立以来、男女共同参画社会の実現に向けて、市と協働して様々な活動を行っています。

その中の活動の紹介がありました。子どもの頃からの男女共同参画意識と住民の意識啓発を目的に、小学生向け「まんが冊子」の作成、小・中学生の「男女共同参画ポスター」の募集、「市民のつどい」での意見発表等の実施などです。去年は、学校の協力を得て「男女共同参画かるた」を作成し、学校や地域で活用しているとの紹介がありました。

グループワークでの意見でも小さい子どものうちからの意識啓発が大切で、かるたや紙芝居などに訴えることが非常に重要である。子どもに作らせることで親にも波及効果が得られるという意見が多くみられました。

(福田 淳)

一部を紹介します

- え** エプロンも似合う父さん かつこいい
- き** 決めつけずみんながチャレンジ 平等に
- れ** レッツゴー パパと一緒に 保育園

編集後記

一言メッセージのこどもの部最優秀賞にあった、「男、女、関係ない!思ったことはちゃんと言おう。みんな同じ人間でしょ?」がとても印象的でした。

普段から、いろいろな立場の人が、思ったことをちゃんと言おうことができ、それぞれを認めることのできるまさに男女共同参画社会になれば、災害時においても強い地域であるといえます。

そんな佐賀市になるよう、男女共同参画の意識をさらに広めたいです。

編集委員 今町 真由美・岡本 ゆかり・草場 栄美
諸永 由美・矢ヶ部 ひとみ

※編集委員は、市民の方にご協力いただいております。

「ぱすぽーと」に関するご意見・ご感想をお寄せください

発行 佐賀市 市民生活部
人権・同和政策・男女参画課
〒840-0919
佐賀市兵庫北三丁目8番36号
【TEL】0952-40-7014
【FAX】0952-34-4549
【URL】<http://www.city.saga.lg.jp/>
(佐賀市HP)
【E-mail】jinken@city.saga.lg.jp